

鹿沼市工事成績評定実施要領

(目的)

第1条 この要領は、鹿沼市が発注する請負工事の工事成績評定（以下「評定」という。）を実施することにより、請負工事の適正かつ効率的な施工を図り、もって工事に関する技術水準の向上、請負業者の適正な選定及び指導育成に寄与することを目的とする。

(対象工事)

第2条 評定の対象とする工事は、すべての工事が完成したものについて行うものとする。ただし、修繕事務取扱基準により実施したものについては除くものとする。

(評定内容)

第3条 評定は、次の各号に掲げる事項について行うものとする。

- (1) 工事成績：工事の施工状況、目的物の品質等を評価
- (2) 工事の技術的難易度：構造物条件、技術特性等工事内容の難しさを評価

(評定者)

第4条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、監督員、主任監督員及び検査員とする。

- 2 監督員は、工事担当係員とし、鹿沼市財務規則（以下「規則」という。）第82条に基づき指定された者をいう。
- 3 主任監督員は、工事担当係長以上（請負金額が1000万円以下の場合は、予算執行者に命ぜられた者）とし、規則第82条に基づき指定された者をいう。
- 4 検査員は、規則第83条に基づき指定された者をいう。

(評定の方法)

第5条 評定は、工事ごとに独立して行うものとする。

- 2 評定は、監督又は検査により確認した事項に基づき、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。
- 3 前項の評定を行う場合、検査の結果、工事の手直しがある場合においても、手直し前の状態を評定するものとする。
- 4 評定は考査項目別運用表を基に、別記様式第1号及び別記様式第2号により実施するものとする。
- 5 工事における工事特性、創意工夫又は社会性について、請負者は当該工事における実施状況を別記様式第3号及び別記様式第4号により提出できるものとし、提出があった場合は、評定に当たって適切に反映させるものとする。
- 6 土木、舗装、電気設備、機械設備等の工種を一括契約とした工事の評定は、軽

微な工種を除き工種別に仮評定を行い、その結果を総合的に勘案して評価するものとする。

7 工事成績の総合評価の範囲は、別添1によるものとする。

(評定の時期)

第6条 監督職員は、工事完成通知書が提出された時点で、検査員は完了検査の時点

で、主任監督員は完了検査が終了した時点で、それぞれ評定を行うものとする。また、工事の技術的難易度の評定は、工事が完成した時点で行うものとする。

(評定結果の通知)

第7条 市長は、検査員から評定結果の報告を受けたときは、別に定める鹿沼市工事成績評定通知実施要領に基づき、速やかに当該工事の評定点を請負者に通知するものとする。

(説明請求等)

第8条 第5条により通知を受けた者は、別に定める鹿沼市工事成績評定通知実施要領に基づき、評定の内容について説明を求めることができる。

(評定の修正)

第9条 市長は、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、評定を修正し、その結果を当該工事の請負者に通知するものとする。「評定を修正する必要があると認められる場合」とは、以下のことをいう。

- (1) 引き渡しを受けた後の瑕疵担保期間中に、請負者の責任による瑕疵が判明した場合。
- (2) 当該工事契約期間中の事故により、指名停止等の処分が検査完了後に決定した場合。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

(廃止要領)

この要領施行に伴い、鹿沼市建設工事成績評定要領は、廃止する。

附 則

この要領は、平成24年5月2日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

別記様式第1号

工事成績採点表

工事主管部

契約番号

工事名				契約金額	円			完成年月日	平成 年 月 日
請負者名	契約日	平成 年 月 日		工期	平成 年 月 日から	平成 年 月 日まで	検査年月日	平成 年 月 日	

考察項目		① 監督員							② 主任監督員							③ 検査員							
		氏名							氏名							氏名							
項目	種別	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	
1.施工体制	I.施工体制一般	2.0	1.5	1	0.5	0	-5.0	-10															
	II.配置技術者	5.0	3.8	2.5	1.3	0	-5.0	-10															
2.施工状況	I.施工管理	7.0	5.3	3.5	1.8	0	-5.0	-10								5.0	4.0	2.5	1.5	0	-5.0	-10	
	II.工程管理	5.0	3.8	2.5	1.3	0	-5.0	-10															
	III.安全対策	8.0	6.0	4.0	2.0	0	-5.0	-10															
	IV.対外関係	3.0	2.3	1.5	0.8	0	-2.5	-5															
3. 出来形 及び 出来栄	I.出来形															7.0	5.5	3.5	2.0	0	-10	-20	
	II.品質															8.0	6.0	4.0	2.0	0	-10	-20	
	III.出来栄															8.0	6.0	4.0	2.0	0	-5.0		
4.工事特性	I.施工条件等への対応															4.0				0			
5.創意工夫	I.創意工夫	5.0				0																	
6.社会性等	I.地域への貢献															3.0		2.0		1.0			
加減点合計(1+2+3+4+5+6)									点							点							
評定点(65±加減点合計)		①							点							③ 点							
評 定 点 計		④							点							点							
		○評定点(① × 0.4 + ③ × 0.6) = ④																					
7.法令遵守									⑤							点							
評 定 点 合 計									⑥評定点計							(④ - ⑤) = ⑥							
所 見																							

※工事成績採点表は、別に定める考查項目別運用表により行うものとする。

細目別評点採点表

項 目	細 別	①監督員	②主任監督員	③検査員	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="text"/> × 0.4+3.7=			4.5点
	II. 配置技術者	<input type="text"/> × 0.4+3.7=			5.7点
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="text"/> × 0.4+3.7=		<input type="text"/> × 0.6+6.5=	16.0点
	II. 工程管理	<input type="text"/> × 0.4+3.7=			5.7点
	III. 安全対策	<input type="text"/> × 0.4+3.7=			6.9点
	IV. 対外関係	<input type="text"/> × 0.4+3.7=			4.9点
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形			<input type="text"/> × 0.6+6.5=	10.7点
	II. 品質			<input type="text"/> × 0.6+6.5=	11.3点
	III. 出来ばえ			<input type="text"/> × 0.6+6.5=	11.3点
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応			<input type="text"/> × 0.6+6.5=	8.9点
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<input type="text"/> × 0.4+3.8=			5.8点
6. 社会性等	I. 地域への貢献度			<input type="text"/> × 0.6+6.5=	8.3点
7. 法令遵守			<input type="text"/> 点		点
評定点合計					100点

工事特性・創意工夫・社会性に関する実施状況

契約番号		請負業者	
工事名			
項目	評価内容	該当	詳細内容
<input type="checkbox"/> 工事特性 (施工条件 等への対 応)	<input type="checkbox"/> I 構造物 の特殊性へ の対応		<input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 切土及び盛土の土工量が5万m ³ 以上の工事 <input type="checkbox"/> 構造物の規模が県内工事の施工実績において大規模となる工事。 <input type="checkbox"/> 残土量及び盛土量が大きく搬出、搬入先が複数あり施工時期も不定期で調整困難な工事。 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路トンネルの拡幅工事。 <input type="checkbox"/> 3. その他（ ） <input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などがよる検討が必要な工事
	<input type="checkbox"/> II 都市部 等の作業環 境、社会条 件等への対 応		<input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 <input type="checkbox"/> 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 <input type="checkbox"/> 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事 <input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 <input type="checkbox"/> その他各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。 <input type="checkbox"/> DID地区での工事。 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 日交通量の多い道路で片側交互通行の交通規制をした工事 <input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、交通解放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 作業現場が広範囲に分布している工事。 <input type="checkbox"/> 10. その他（理由 ） <input type="checkbox"/> 施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
	<input type="checkbox"/> III 厳しい 自然・地盤 条件への対 応		<input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 特殊地盤条件のため特殊工法又は調査を実施しながら施工することが必要な工事。 <input type="checkbox"/> 施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要性が生じた工事。 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 中小河川及び道路工事において、自然条件が影響し幾度となく計画の見直しが必要な工事。 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。 <input type="checkbox"/> 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 <input type="checkbox"/> 土石流危険渓流に指定された区域内における工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 15. その他（理由 ） <input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 <input type="checkbox"/> その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事
	<input type="checkbox"/> IV 長期工 事における 安全確保へ の対応		<input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） <input type="checkbox"/> 17. その他（ ）

工事特性・創意工夫・社会性に関する実施状況(営繕工事)

契約番号		請負業者	
工事名			
項目	評価内容	該当	詳細内容
□ I. 工事特性(施工条件等への対応)	□1. 建物規模への対応		<input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物 <input type="checkbox"/> 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 <input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□2. 建物固有の機能の難しさへの対応		<input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□3. 建物固有の施工技術の難しさへの対応		<input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】 <input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性 <input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□4. 厳しい自然・地盤条件への対応		<input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□5. 厳しい周辺環境、社会条件との対応		<input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□6. 施工現場での対応		【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□7. 準備・後片づけ関係		<input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□8. 施工関係		<input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫

		<input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫 <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
□Ⅱ. 創意工夫	□9. 品質関係	<input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□10. 安全衛生関係	<input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□11. 施工管理関係	<input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> CALSを活用した施工管理の工夫 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
	□12. その他	<input type="checkbox"/> <新技術活用> <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち、試行技術を活用した。 <input type="checkbox"/> 活用した試行技術が少実績優良技術もしくは、当該工事において発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合。 <input type="checkbox"/> NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち、『有用とされる技術』を活用するか、『有用とされる技術』以外の技術を活用した結果、当該工事において発注者による活用効果調査の総合評価点が120点以上の場合。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)
□Ⅲ. 社会性等	□13. 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)

1. 該当する項目に印をつける。

2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理する。

別記様式第4号

工事特性・創意工夫・社会性に関する実施状況

契約番号		請負業者	
工事名			/
項目		評価内容	
提案内容			
(説明)			
(添付図)			

1. 説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別様とする。

別添 1

工事成績評定採点をするうえでの総合評価の範囲について

総 合 評 価 の 範 囲

ランク	評定点の標準値	総 合 評 価 の 範 囲	
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79点	標準的な工事	Aランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74点		標準的な工事
D	60～64点		Eランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59点以下	今後指名等に影響を及ぼす恐れのある工事	